

# ESフリップベッド 取扱説明書

適合車種：200系ハイエース S-GL



このたびは弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。  
お取り付け、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。誤ったお取り付け、ご使用による事故等の責任は負いかねますのでご了承ください。

商品には万全を期していますが、万一、欠品または内容に相違がある場合は、お手数ですが下記までご連絡ください。

有限会社オグショー

435-0006 静岡県浜松市東区下石田町1841-1

TEL: 053-421-0122 FAX: 053-421-3686

## 製品内容

作業に取り掛かる前に製品内容の確認を必ず行ってください。



No.	部品名称	数量
①	運転席側マット	1
②	助手席側マット+センター脚	1
③	フレーム脚左右	2
④	カラー 26mm※	4
④	カラー 36mm※	4
⑤	M6×30 皿ボルト (ブラック)	12
⑥	M8 ノブボルト	4
⑦	M8 ワッシャー	4
⑧	マット固定用ベルト	2
⑨	アダプタボルト※	2
⑩	極低頭ボルト 16mm※	2
⑪	M6 ワッシャー※	2
⑫	下地材 (12mm 厚)	1

※3型前期以前(リア3点式シートベルト非装着車)のみ ※3型前期以前(リア3点式シートベルト非装着車)のみ

**必要工具**

- ラチェット ●12mmソケット ●14mmソケット ※ ●電動ドリル・ドライバー ●プラスドライバー3番
- 20Φホールソー ※ ●六角レンチ3mm ※

※3型前期以前(リア3点式シートベルト非装着車)のみ

**注意事項**

	<p><b>注意</b></p>	<p>安全のために必ず守っていただきたいこと。 守らないと損害又は事故につながる恐れがあります。</p>
	<p><b>アドバイス</b></p>	<p>お車のために必ず守って頂きたいこと。 守らないと車両損害につながる恐れや正規機能を確保できないことがあります。</p>

**取付上の注意事項**

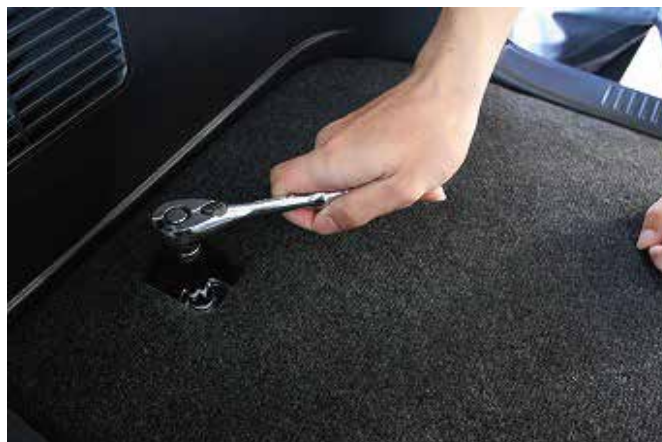
- ・取付け作業は、車両を平坦な場所に止めパーキングブレーキをしっかりと行ってください。  
また、安全を確保するためエンジンキーは必ずOFFにしてください。
- ・取付け作業時、本製品および車両側部品等に傷を付けないよう十分注意してください。
- ・ドリルを使用する際は、奥のパネルを傷つけないように先端から位置規制を行ってください。

**取付手順**



**1**

タイヤハウス前後にある純正フックを取外します。まずカーペットの切り込み部分を、内張り方向に押し込み、純正フックが見える状態にします。



**2**

ラチェットと12mmのソケットを使い、純正フックを取外します。



3

純正フックを外した箇所にフレーム脚の浮き沈みを防ぐカラーを置きます。その際、ボディナットの穴が隠れないようにします。



※1型～3型前期は高さ26mm、3型後期以降は高さ36mmのカラーを使用します。

※車輛の細かな製造時期や個体差によっては、上記と限らない場合もありますので、実車にてご確認いただき、必要に応じて入れ替えてご使用ください。

### 【ES フリップベッドのみご購入の方】

フロアパネル (R) を取付けずに、ベッドのみ取付けされる場合は、P11. 35 36 の作業をはじめに行ってください。  
その後 5 ~ の作業を進めてください。

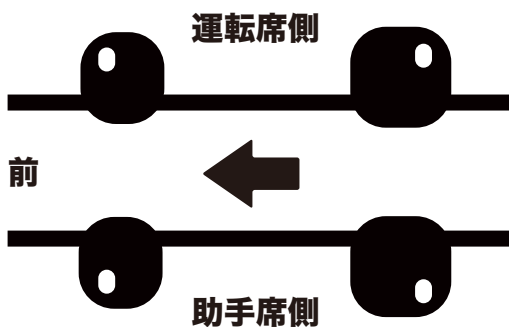


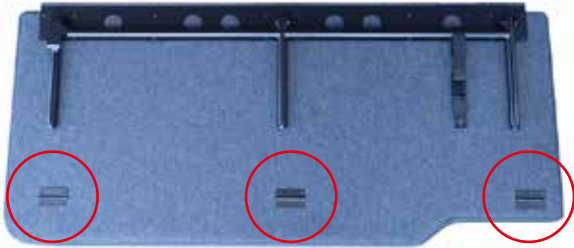
4

ESフロアパネルR(別売り)と同時装着される場合、ここでパネルを取付けます。パネルの穴位置と、ボディの穴位置が合っているかを確認します。

5

左右のベッドマットにフレーム脚を取付けます。左図を参考に前後左右の方向に注意し、フレーム取付け位置を確認します。





6

ベッドマットを裏返し、マット裏に取付けられている蝶番の位置を確認します。マット1枚につき3箇所蝶番が取付けられています。



7

蝶番には3箇所穴が空いていますが、フレーム脚を取付ける際両端の穴のみを使用します。中央の穴は使用しません。



8

付属のM6皿ボルト(黒)を使い、フレームを取付けます。まず、ネジ山を壊さないように手でボルトを回し、まっすぐになっていることを確認した上で、プラスドライバーを使い固定します。  
**※まず仮固定とし、すべての蝶番を仮固定してから本締めします。**  
 左右のマットを合計12箇所固定します。



## 車両へのベッドマット取付け

9

まず脚の付いている助手席側のベッドマットをボディに載せます。ベッドを積載した後折りたたみ脚を展開します。



**安全のため必ず2人で作業を行ってください。**



**10**

タイヤハウス前後の穴位置を利用し、フレーム脚の土台を固定します。付属のM8ノブボルトとM8ワッシャーを使用します。まっすぐ入っている事を確認した上で締めてください。

※この時点では仮固定とします。

**11**

運転席側のベッドマットも同様の手順で固定します。既に設置済みの助手席側のマットを一度上げ、左右のマットを山折りにしてからベッドを下ろすと入れやすくなります。マット目(キルティング)を合わせて位置を調節します。



### マット固定用ベルトの取付け

※3型前期以前(リア3点式非装着車)の場合、ピラー部にアダプタボルトを装着する必要があります。(12)～(19)の作業は行わず、(20)～(34)の作業を行いません。

**12**

マット固定用ベルトを取付けるために準備します。まず外側の太いマジックテープを外し内側の細いマジックテープの片側のみを剥がします。

**13**

剥がしたマジックテープをバックルから外します。この状態で取付けるための準備は整いました。

**14**

バックルから外した細いマジックテープを、3点式シートベルトのボルト部分(シートベルトと内張りとの間)に巻き付けるように通します。

**15**

バックルから外した細いマジックテープを再度バックルに通します。バックルに通したら、マジックテープをしっかりと固定します。

**16**

最後に外側の太いマジックテープをしっかりと巻き付けます。剥がれないことを確認して、固定用ベルトの取付けは完了です。

反対側も同じように取付けます。



17

ベッドマットを収納します。ベッドを跳ね上げ、脚の付け根にあるレバーを下方向に押し、ロックを解除してからベッド脚を折りたたみます。



18

ベッドマット裏のベルトと固定用ベルトで、マットを固定します。この際、ベルトに緩みがないよう、ベルトの長さを調整します。



19

左右のマットを跳ね上げてベルトで固定し、フレーム脚の土台を固定しているノブボルトをすべて本締めして完了です。

※定期的に、ボルトにゆるみがないか確認し必要に応じて増し締めしてください。



マット固定用ベルトの取付け(シートリア 3点式シートベルト非装着車)

20

3点式シートベルトを固定するためボディに埋め込まれているナットを利用してベルトを取り付けます。プラスドライバーを使い、ルームセパレーターバーの受けを留めているボルトを外します。

**21**

Cピラー樹脂カバーを上側から外していきます。カバーは、裏側に付いている白いピンで固定されています。カバーを破損させないために、できるだけピンに近いところに力をかけて手前に引きます。



※寒い時期などは樹脂が硬くなっていて破損しやすいので、慎重に作業を進めてください。

**22**

ピラーカバー中央部付近を固定しているのピンのあたりを左右で持ち手前に引き外していきます。

**23**

ピラーカバーをすべて外す前に、スライドドアのウェザーストリップ(黒いゴム)を手前に引き、外します。

**24**

ピラーを取り外すために、ピラー下のサイドパネル(グレーもしくはブラックの内張り部分)の上部も外します。手前に引くことで外れます。

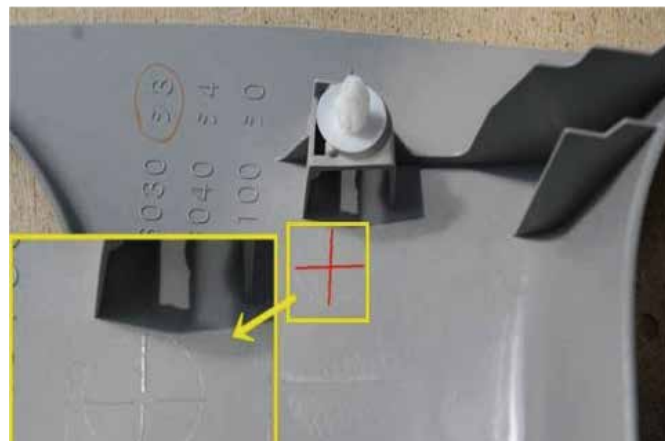


**25**

パネル(内張り)で隠れた部分にも、ピラーカバーに固定している白いピンがあります。カバー・パネルを破損しないように注意しながら、必要に応じてピン抜きなどを使用しながら外します。

**26**

Cピラーカバーを完全に取外します。

**27**

外したピラーカバーの裏側です。上に付いている白いピンの下に「十字」のマークがあります。この部分に穴をあけます。

**28**

「+字」マークを中心に、20Φホールソーを使い、穴を開けます。

**29**

Cピラーカバーを外したボディ側のナット部分に、付属のアダプタボルトを取付けます。

**30**

ラチェットレンチと、14mmソケットを使い、アダプタボルトを固定します。

**31**

アダプタボルトを取付けた状態です。

**32**

ホールソーで穴をあけたCピラーカバーを元に戻します。



33

ピラーカバー裏側の白いピンが、ボディにはまっているかを確認します。プラスドライバーを使い、ルームセパレーターバーの受けを留めているボルトを元に戻して締めます。また、外してあるウェザーストリップ(黒いゴム)も元に戻します。



34

取付けたアダプタボルトに、マット固定用ベルトを取付けます。ベルト先端部の穴位置で、3mm六角レンチを使い、M6低頭ボルト16mmとM6ワッシャーで固定します。反対側にも同じ方法でベッドマット固定用ベルトを装着して完了です。



### ESフロアパネル未装着の場合

35

ボディのフロアには凹凸があるため、そのままベッドを装着するとベッドマット脚が、フロアの凹んでいる部分にあたるため、マットが水平になりません。それを防ぐための下地材を装着します。



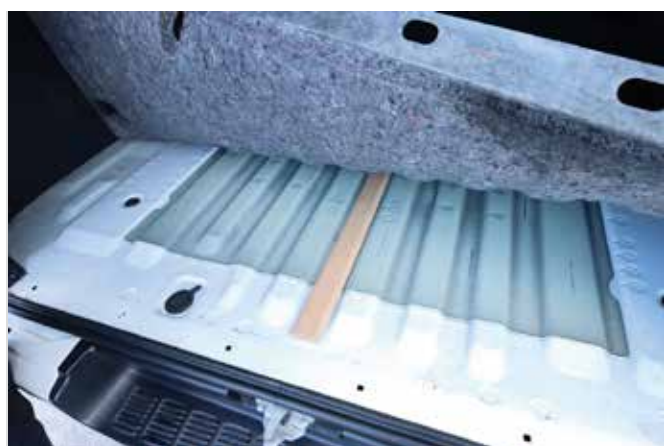
36

荷室のリアエンドの樹脂カバーを外します。ピンで固定されているので、引っ張ることで外れますが、折らないようにご注意ください。



**37**

フロアカーペットをめくると、ボディフロアの凹凸が見えます。中央の凹んでいる部分に、付属の下地材を入れ込みます。



**38**

リアエンドの樹脂カバーに干渉しないところまで入れ込みます。



**39**

リアエンドの樹脂カバーを元に戻します。以上で下地材の装着は完了です。引き続きベッドマットへのフレーム取り付けを行いません。(5)に戻ります。

## ご注意ください

### ■すべての商品につきまして

- お取付けの際には、必ず取扱説明書をご覧の上、作業を行なってください。
- お取付け作業を行なう際には、軍手や長袖などで身体を保護し、十分に注意してください。
- 作業を行なう際は、車両を水平な場所に移動させ、近くにガソリンなどの危険物や可燃物がない安全な場所で行なってください。
- 重量物のお取付けの際には、何人かで慎重に作業を行なってください。
- ボルト・ナットの締め付け不良は、破損や部品の脱落などにつながる恐れがありますので、十分に注意して作業を行なってください。
- 定期的に各部に異常がないかを確認してください。ボルト類などに緩みがないか確認し、定期的に増し締めを行なってください。
- 故障の原因となりますので、指定された適合車両以外へのお取り付けは行なわないでください。
- 走行中に異常が発生した場合は、走行を中止し、安全な場所に移動して異常箇所の点検を行なってください。

## 保証規定

1. 取扱説明書、本添付ラベル等の注意書きに基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万が一故障した場合、無料にて故障箇所を当社所定の方法で修理させていただきますので、お買い上げ販売店、または当社サービス窓口の本保証書を添え、部品単体でご持参ください。修理を行なうために交換された旧部品、または機械の一部にはお返しできないものがあります。
  2. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。
  3. 次のような場合には保証期間でも有料修理になります。
    - (1) 本保証書のご提示がない場合
    - (2) 本保証書に保証期間、お客様名、販売店名及び押印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
    - (3) ご使用中の交通事故等お客様の取り扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合
    - (4) お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障及び損傷
    - (5) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷及び風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障及び損傷。
    - (6) 本製品に接続している機器及び消耗品に起因する故障及び損傷。
    - (7) 正常なご使用方法でも消耗部品が自然消耗、劣化した場合。
    - (8) 本製品を車両用以外の目的で使用した場合。
  4. ご不明な点はお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
  5. 本保証書は国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとに置いて無料保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限する物ではありません。

品名	200系ハイエースES フリップベッド	
保証期間	ご購入日から1年間	
お客様情報	ご住所	
	お名前	
	お電話番号	
※販売店・住所・電話番号		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご記入の有無をご確認ください。もし記入がない場合は、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

※この保証書は、本書記載内容を無料修理を行なう事をお約束するものです。(上記に記載の保証規定をご覧ください)

※お買い上げの日から上記期間中、万が一故障が発生した場合、ご提示の上、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へ部品単体でご持参ください。

※持込修理(出張修理の場合、出張費用は有料)になります。